GT PLUS 簡易取扱説明書

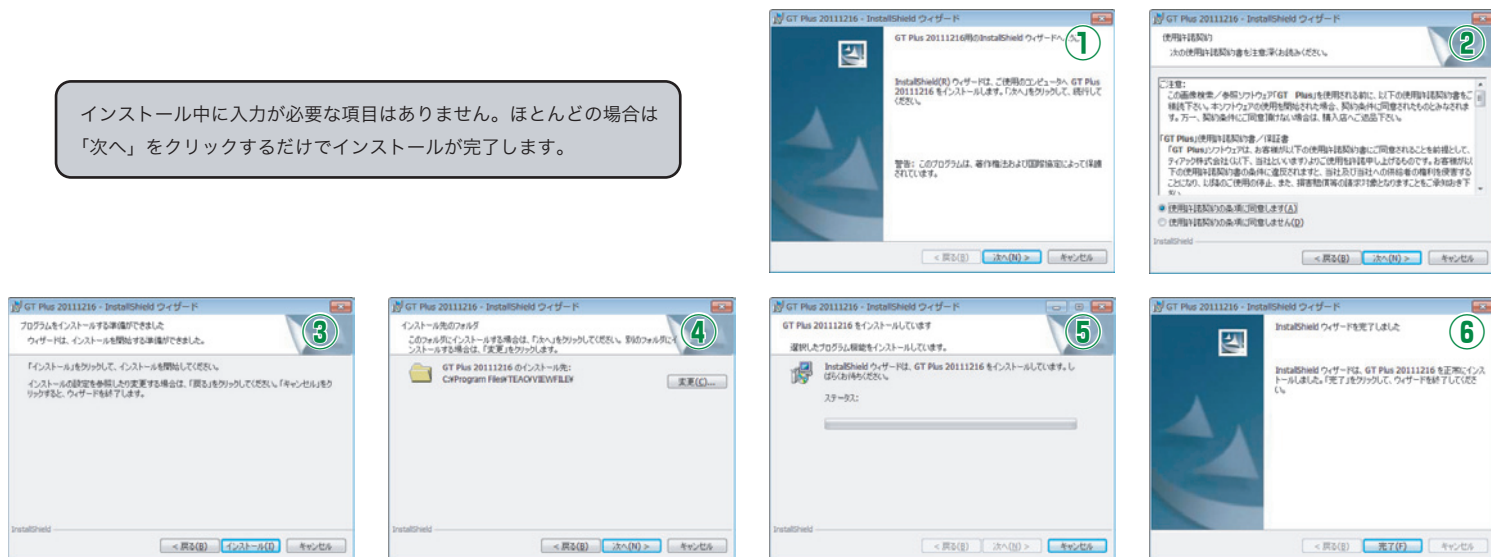
2012.1

本簡易取扱説明書では、GT Plus のインストール方法／起動に始まり、アーカイブメディアを作成してデジタルカメラやマイクロスコープから写真を取り込み、表示するまでを解説します。

1. GT Plus のインストール

a. CD-ROM からインストールする場合は、コンピュータの CD-ROM ドライブにセットすると自動的にインストールを開始します。
CD-ROM からの自動起動が無効である場合など、自動的にインストールが開始されない場合は CD-ROM 内の setup.exe をダブルクリックするとインストールを開始します。

b. ダウンロードした GT Plus のインストールプログラムよりインストールする場合は、そのインストールプログラムをダブルクリックしてください。

インストール中に入力が必要な項目はありません。ほとんどの場合は「次へ」をクリックするだけでインストールが完了します。

2. GT Plus を起動する

GT Plus を使用するために必要な設定は、インストール後に GT Plus を起動して行います。

GT Plus

起動方法１：GT Plus をインストールすると、デスクトップに GT Plus のアイコンが作成されます。このアイコンをダブルクリックすると GT Plus を起動します。

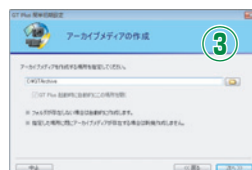
起動方法２：Windows のスタートボタンをクリックしてスタートメニューを表示し、『(すべての）プログラム』→『VIEWFILE』→『GT Plus』を選択すると GT Plus を起動します。

3. 初期設定

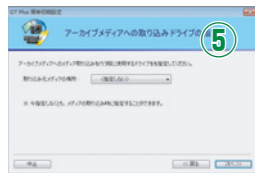
GT Plus をインストールしてから初めて起動するときに自動的に簡単初期設定を開始します。
初回の起動時以外は簡単初期設定は自動的には開始されませんが、『設定』メニューの『簡単初期設定』を選択することによりいつでも簡単初期設定を開始できます。

簡単初期設定にて最低限必要な作業は【アーカイブメディア】という、写真の保存場所（フォルダ）を指定することです。

簡単初期設定の開始ウィンドウです。
必要な操作はありませんので『次へ』をクリックしてください。

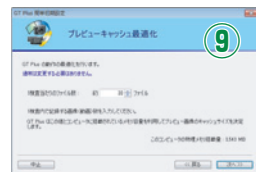
デジタルカメラから写真を取り込んだり、マイクロスコープから映像を取り込む場合は『ハードディスクに全ての画像を取り込む』をチェックしてください。

【アーカイブメディア】という写真の保存場所を指定します。初期状態では、“C:¥GTArchive”というフォルダが設定されています。
外付けハードディスクを指定したい場合などはこのフォルダを変更してください。

デジタルカメラから写真を取り込んだり、マイクロスコープから映像を取り込む場合は『メディア取り込み』のみをチェックしてください。

以降の設定は、変更することなく『次へ』進めても構いません。これらの設定項目は後でいつでも変更できます。

写真を取り込む場合には必要のない設定です。必要な操作はありませんので『次へ』をクリックしてください。

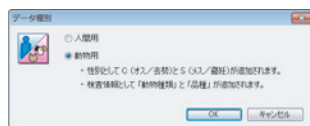
絞り込みモードを選択します。標準モードでは患者 ID と日付で検査リストを絞り込むことができます。詳細モードでは、上記に加え患者名や検査種別、部位等で絞り込むことができます。

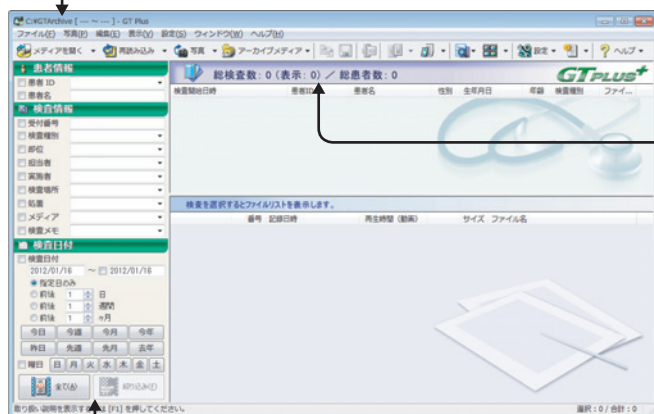
プレビュー表示での画像表示数（横 × 縦）を指定することができます。プレビュー表示中にいつでも変更できるので、設定を変更せずに『次へ』をクリックして構いません。

印刷時の用紙内での画像数（横 × 縦）等を指定することができます。レイアウト印刷プレビュー表示中にいつでも変更できるので、設定を変更せずに『次へ』をクリックして構いません。

GT Plus が写真を表示する際に利用するメモリの大きさを間接的に指定します。設定を変更せずに『次へ』をクリックして構いません。

簡単初期設定は完了です。『完了』ボタンをクリックしてください。

※ 動物病院向け

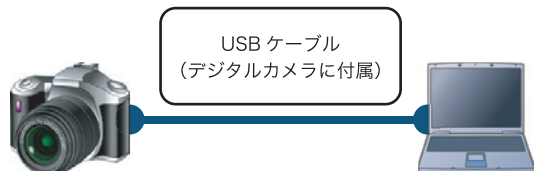
『設定』メニューの『データ種別』を選択し、『動物用』をチェックすると、患者情報として『動物種類』と『品種』が追加され、さらに性別に『C(ast)』と『S(pay)』が加わります。

簡単初期設定を完了すると、GT Plus のメインウィンドウに戻ります。これでアーカイブメディアに写真を取り込む準備は完了しました。

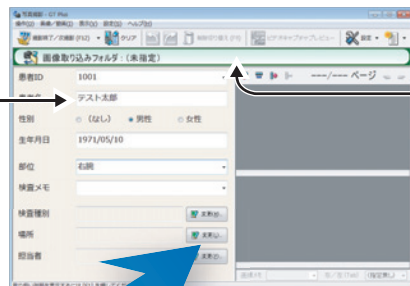
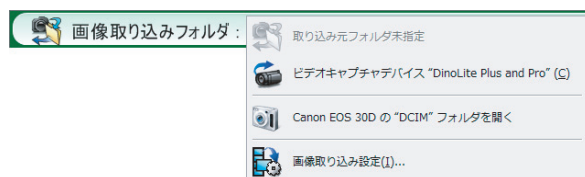
作成したアーカイブメディアの場所を表示します。

作成したばかりのアーカイブメディアにはまだ写真が保存されていません。そのため、総検査数や総患者数は“0”と表示されています。

リストに表示する項目は、『設定』メニューの『リスト表示項目』で変更できます。（日時、患者 ID、患者名、検査種別、部位、処置、検査メモ等）

標準絞り込みモードと詳細絞り込みモードの切り替えは、『設定』メニューの『絞り込み』で行います。

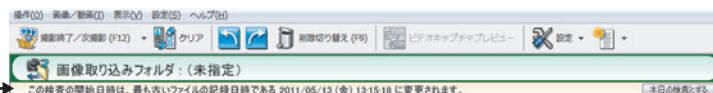
標準絞り込みモード（患者 ID と日付のみで絞り込み）

4-1. デジタルカメラを USB ケーブルで接続して写真を取り込む

写真を撮影したデジタルカメラとコンピュータを、デジタルカメラに付属する USB ケーブルで接続して GT Plus に写真を取り込みます。

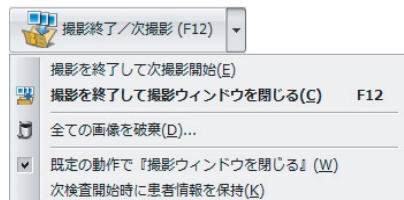
ツールバーの『写真』ボタンをクリックして『写真撮影』ウィンドウを表示します。

ドラッグ＆ドロップにより GT Plus に取り込んだ写真は『写真撮影』ウィンドウ右側に表示されます。

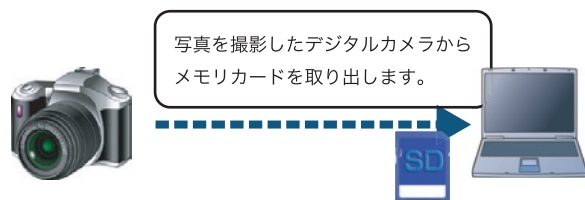
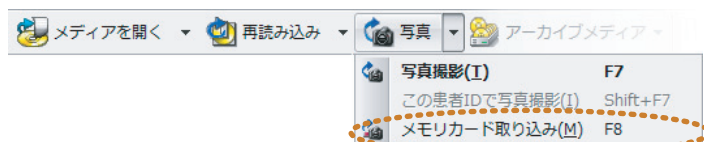
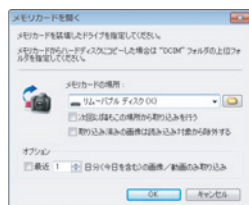
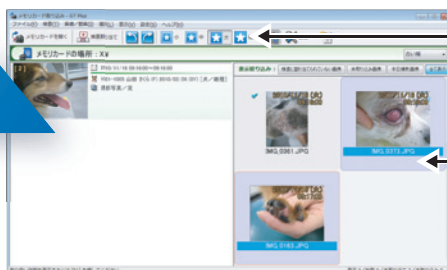
『縦横表示数変更』ボタン

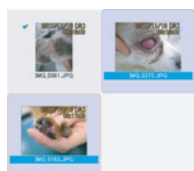
取り込んだ画像の縦横表示数を変更できます。

当日撮影ではない、以前の写真を取り込むとこの部分にその旨メッセージを表示します。
この検査の検査開始日時は最も古い写真の撮影日時になりますが、『本日の検査とする』をクリックすると今日の検査として保存できます。

検査を終了して取り込んだ写真を保存する

1 名分の写真を全て取り込んだら『撮影終了／次撮影』をクリックして（または F12 キーを押します）アーカイブメディアに保存します。
この一連の作業を繰り返すことで複数の検査をアーカイブメディアに取り込んで保存することができます。

『撮影終了／次撮影』をクリック（または F12 キー）したときに、写真撮影ウィンドウを表示したまま次の検査の取り込みを行うか、または写真撮影ウィンドウを閉じてメインウィンドウに戻るかを設定することができます。『撮影終了／次撮影』右側の▼をクリックして表示されるメニューの『既定の動作で撮影ウィンドウを閉じる』がチェックされている場合は写真撮影ウィンドウを閉じてメインウィンドウに戻ります。

4-2. デジタルカメラで撮影した写真が保存されているメモリカードから取り込む

写真を撮影したデジタルカメラから
メモリカードを取り出します。

デジタルカメラからメモリカードを取り出し、コンピュータのメモリカードリーダに装填します。

ツールバーの『写真』ボタン右側の▼をクリックして『メモリカード取り込み』を選択します。

メモリカードをセットしたドライブを選択して
『OK』ボタンをクリックします。

検査を作成する

① 写真一覧から、一つの検査としてまとめる写真を全て選択します。Ctrl キー、または Shift キーを押しながら写真をクリックすると複数の写真を選択することができます。

写真をクリックして選択します。

選択されていない写真

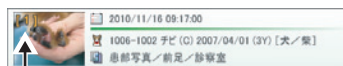
選択されている写真

② ツールバーの『検査割り当て』ボタンをクリックします。

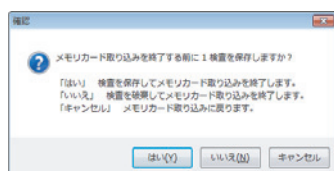
患者／検査情報ウィンドウ

写真を確認しながら検査に追加することができます。
表示されている写真の下部にある『<』、『>』ボタンで
表示する写真を切り替えられます。

『関連付けられたアプリケーションで開く』ボタンをクリックすると表示中の写真を標準の画像ビューアで表示します。

③『OK』ボタンをクリックすると『メモリカード取り込み』ウィンドウ左側の『割り当て済み検査リスト』に検査として追加されます。

いずれかの検査に割り当て済みの写真には
チェックマークが表示されます。

検査の割り当てを完了して写真を保存する

取り込む全ての写真を検査に割り当てたら『メモリカード取り込み』ウィンドウを閉じます。下のような確認メッセージが表示されるので『はい』をクリックすると検査をアーカイブメディアに保存します。

取り込み済みマークについて

検査に割り当ててアーカイブメディアに保存された写真には“取り込み済みマーク”が付きます。“取り込み済みマーク”はメモリカードに記録され、次回以降の取り込み時に既に取り込み済みの写真を表示から除外することができます。

“取り込み済みマーク”を追加、または除去するには、『メモリカード取り込み』ウィンドウにてメモリカードに記録されている写真を右クリックして『取り込み済みマーク解除』を選択してください。

4-3. USB マイクロスコープで撮影する

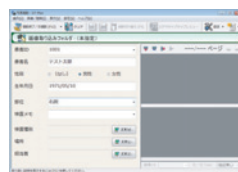
コンピュータに USB マイクロスコープを接続し、ライブ映像を見ながら撮影して GT Plus に画像を取り込みます。

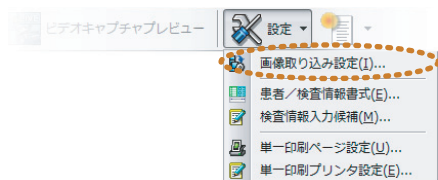
マイクロスコープのデバイスドライバをインストールする（初めて使用するときのみ）

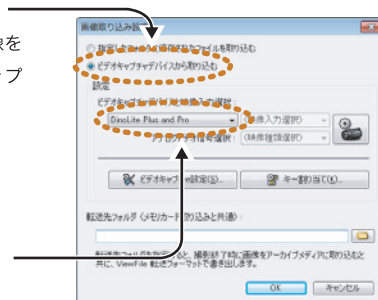
コンピュータに初めてマイクロスコープを接続する前に、マイクロスコープに付属するデバイスドライバをインストールする必要があります。既に利用中のマイクロスコープであればデバイスドライバはインストール済みですのでこの作業は必要ありません。
ほとんどのマイクロスコープではデバイスドライバのインストールが必要ですが、デバイスドライバが不要のマイクロスコープ（Scalar M3 等）ではデバイスドライバをインストールする必要はありません。コンピュータに接続するだけで使用できます。
デバイスドライバのインストール方法についてはマイクロスコープの取扱説明書をご覧ください。

写真撮影ウィンドウを開く

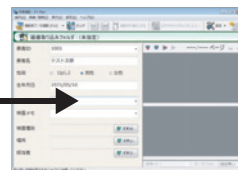
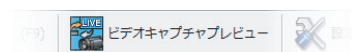
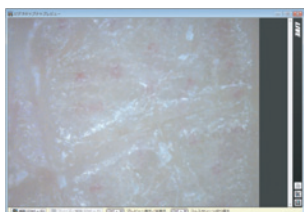
ツールバーの『写真』ボタンをクリックして
『写真撮影』ウィンドウを表示します。

写真撮影ウィンドウ

マイクロスコープからの取り込みを有効にする（初めて使用するときのみ）

GT PLUS を初めて起動したときはマイクロスコープは利用可能ではありません。
『写真撮影』ウィンドウツールバー『設定』メニューの『画像取り込み設定』を選択します。

『ビデオキャプチャデバイスから取り込む』をチェックします。マイクロスコープのように映像をコンピュータに取り込む機器のことをビデオキャプチャデバイスと言います。

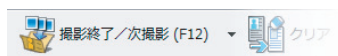
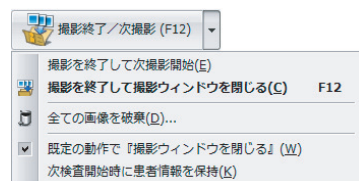
マイクロスコープの型式が表示されます。
マイクロスコープを接続しているにも関わらず表示されない場合はデバイスドライバが正しくインストールされていない可能性があります。

患者情報を入力する

『写真撮影』ウィンドウ左側の患者／検査情報入力欄に患者情報や検査情報を入力します。
必ずしも撮影前に入力する必要はありません。撮影を終了する前であればいつ入力しても構いません。

写真撮影ウィンドウ

ライブビューを表示する

『ビデオキャプチャプレビュー』ボタンをクリックするとライブ映像を表示します。マイクロスコープのトリガボタンにより静止画を撮影できます。

ライブ映像をダブルクリックするとフルスクリーン表示に切り替えることができます。

検査を終了して取り込んだ写真を保存する

1 名分の撮影が完了したら『撮影終了／次撮影』ボタンをクリックして（または F12 キーを押します）アーカイブメディアに保存します。

撮影終了／次撮影 (F12)
撮影を終了して次撮影開始(E)
撮影を終了して撮影ウィンドウを閉じる(C) F12
全ての画像を破棄(D)...
既定の動作で『撮影ウィンドウを閉じる』(W)
次検査開始時に患者情報を保持(K)

『撮影終了／次撮影』ボタンをクリック（または F12 キー）したときに、写真撮影ウィンドウを表示したまま次の検査の取り込みを行うか、または写真撮影ウィンドウを閉じてメインウィンドウに戻るかを設定することができます。『撮影終了／次撮影』右側の▼をクリックして表示されるメニューの『既定の動作で撮影ウィンドウを閉じる』がチェックされている場合は写真撮影ウィンドウを閉じてメインウィンドウに戻ります。

5. 各ウィンドウの機能

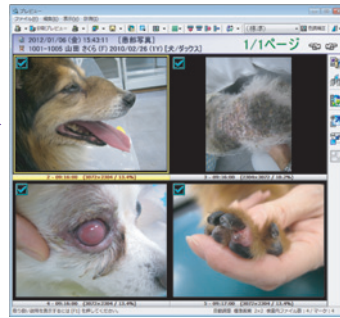
写真の一覧表示【プレビューウィンドウ】

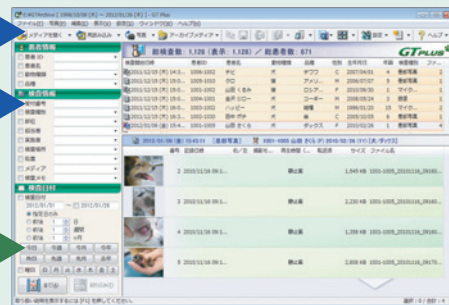
・表示分割数変更
・単一表示切り換え（画像をダブルクリック）
・拡大／縮小
・明るさやコントラストの変更
・印刷する画像を指定

印刷【印刷プレビューウィンドウ】

・印刷分割数変更
・印刷項目の指定
・プリンタ変更、用紙変更（複数のプリンタがある場合は使用するプリンタを記憶可）

比較表示【検査比較ウィンドウ】

・同一患者 ID の画像比較
・単一表示切り換え（画像をダブルクリック）
・拡大／縮小
・明るさやコントラストの変更

検査の一覧表示【メインウィンドウ】

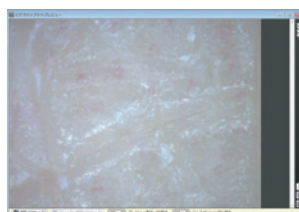
・表示検査の絞り込み
・患者情報や検査情報の変更
・検査の削除
・各種設定

写真取り込み【写真撮影ウィンドウ】

・写真をドラッグして取り込み
・マイクロスコープ映像取り込み
・写真の回転
・印刷

マイクロスコープ（ライブ映像）

【ビデオキャプチャプレビューウィンドウ】

・ライブ映像の表示
・撮影済み映像の表示／印刷

メモリカード取り込み

【メモリカード取り込みウィンドウ】

・SD カードや CF カードから写真取り込み